

広島広域都市圏ICT推進協議会における オープンデータの取組

令和3年10月25日

広島市企画総務局
行政経営部情報政策課



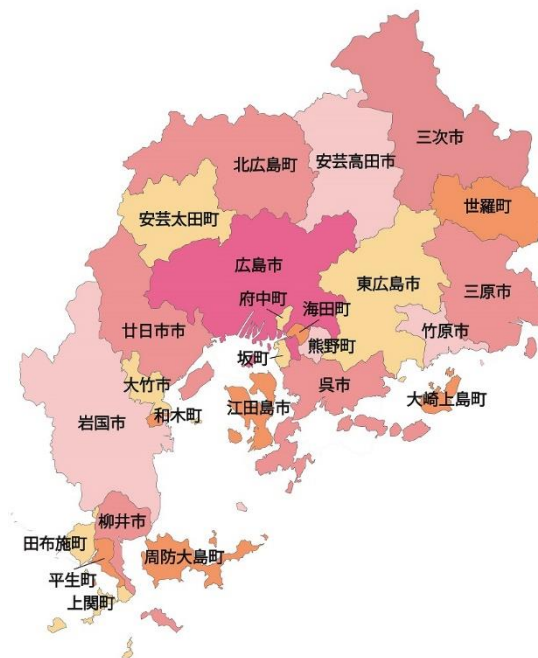
広島広域都市圏ICT推進協議会について

◆広島広域都市圏

→ヒト・モノ・カネ・情報の循環を基調とする「ローカル経済圏」を構築し、圏域の経済を活性化し自律的で持続的な発展を図ることを目的として、広島市の都心部からおおむね60kmの圏内にある25市町で構成



広島広域都市圏
マスコットキャラクター
ひろしま都市犬はっしー



広島広域都市圏ICT推進協議会

広島広域都市圏の市町で連携して、様々な先端技術を活用することにより、行政の高度化・効率化、住民サービス向上を図ると共に、広島広域都市圏ビジョンにも掲げられている「ヒト・モノ・カネ・情報の循環」の実現を目指すことを目的に令和2年3月に設立



広島広域都市圏ICT推進協議会の取組

広島広域都市圏 ICT推進協議会で取り組む事業

＜広島広域都市圏が目指す都市圏像＞

＜行政面＞
住民の満足度が高い
行政サービスを
展開できる都市圏を創る

＜生活面＞
どこに住んでも安心して
暮らしやすい
都市圏を創る

＜経済面＞
ヒト・モノ・カネ・
情報が巡る都市圏を創る

＜施策＞
結び付きやネット
ワークを強化する

ICT環境の整備・
有効活用

広島広域都市圏ICT推進協議会事業

- (1) 先端技術の活用に関する情報交換
- (2) 自治体における先端技術を活用した事例やICT企業の技術動向についての情報共有
- (3) 共同での事業実施の検討

R2.3 設置

オープンデータ推進事業 (オープンデータ推進会議)

R2.9 設置

- 国の取組目標に対し広島広域都市圏のオープンデータ取組率が低調であることや、自治体ごとにオープンデータのフォーマットが異なるため使いにくい等の課題があることから、広域都市圏で共同で取り組むべき課題としてオープンデータ推進事業を選定
- 全市町からオープンデータ推進事業への参加意向が得られたことから、広島広域都市圏ICT推進協議会にてオープンデータ推進事業に取り組む



オープンデータ推進事業の取組概要

- オープンデータ推進事業では「オープンデータの整備」と「オープンデータの活用推進」を柱として推進する方針

オープンデータ推進事業の取組概要

オープンデータの整備

- オープンデータポータルサイトの構築/共同運用
⇒他のサービスと連携可能なシステムの構築
⇒広域のデータを一元的に活用しやすい環境構築
- 統一フォーマットのオープンデータを作成

オープンデータ 推進事業

オープンデータの活用推進

- 民間事業者等へのニーズ調査を実施し、必要となるデータを公開
- 各市町で公開して効果のあったデータを共有
- オープンデータに関する最新の情報を収集



広島広域都市圏オープンデータポータルサイトの構築

- オープンデータ推進事業として広島広域都市圏のポータルサイトの構築を検討
- 広域のデータを一元的に公開することでオープンデータを活用しやすい環境の構築を目指す

before

行政

- ・ 自前のHPでデータの公開
- ・ 独自のフォーマットでデータを作成



利用者

- ・ データの収集の負担
- ・ データの加工の負担
- ・ データ更新の確認が必要



after

行政

- ・ ポータルサイトでデータの公開
- ・ 定型のフォーマットでデータを作成



利用者

- ・ データの収集が容易
- ・ データの加工負担の減少
- ・ データの自動更新が可能



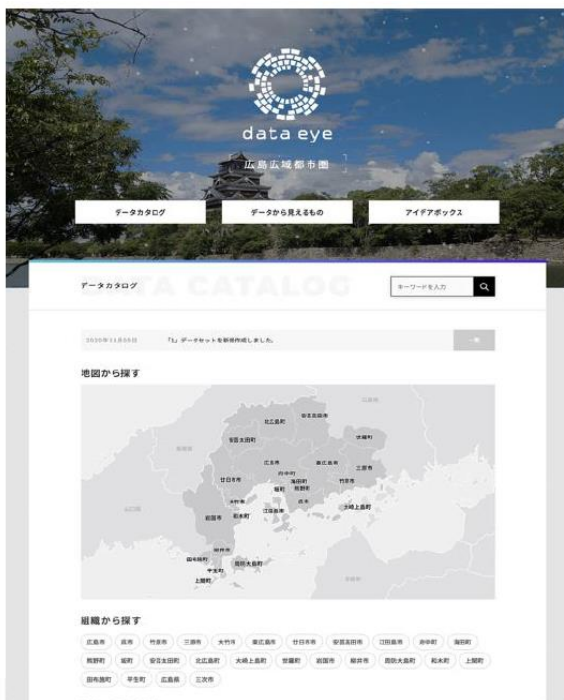


広島広域都市圏オープンデータポータルサイトの構築

- 令和3年9月に、一般社団法人データクレイドルと広島広域都市圏オープンデータポータルサイトの構築及び運用・保守に係る委託契約を締結（公募型プロポーザルによる調達）
- 令和3年10月～11月にサイト構築を行い、令和3年12月から運用開始予定

・ トップ画面イメージ

・ データセット一覧選択画面

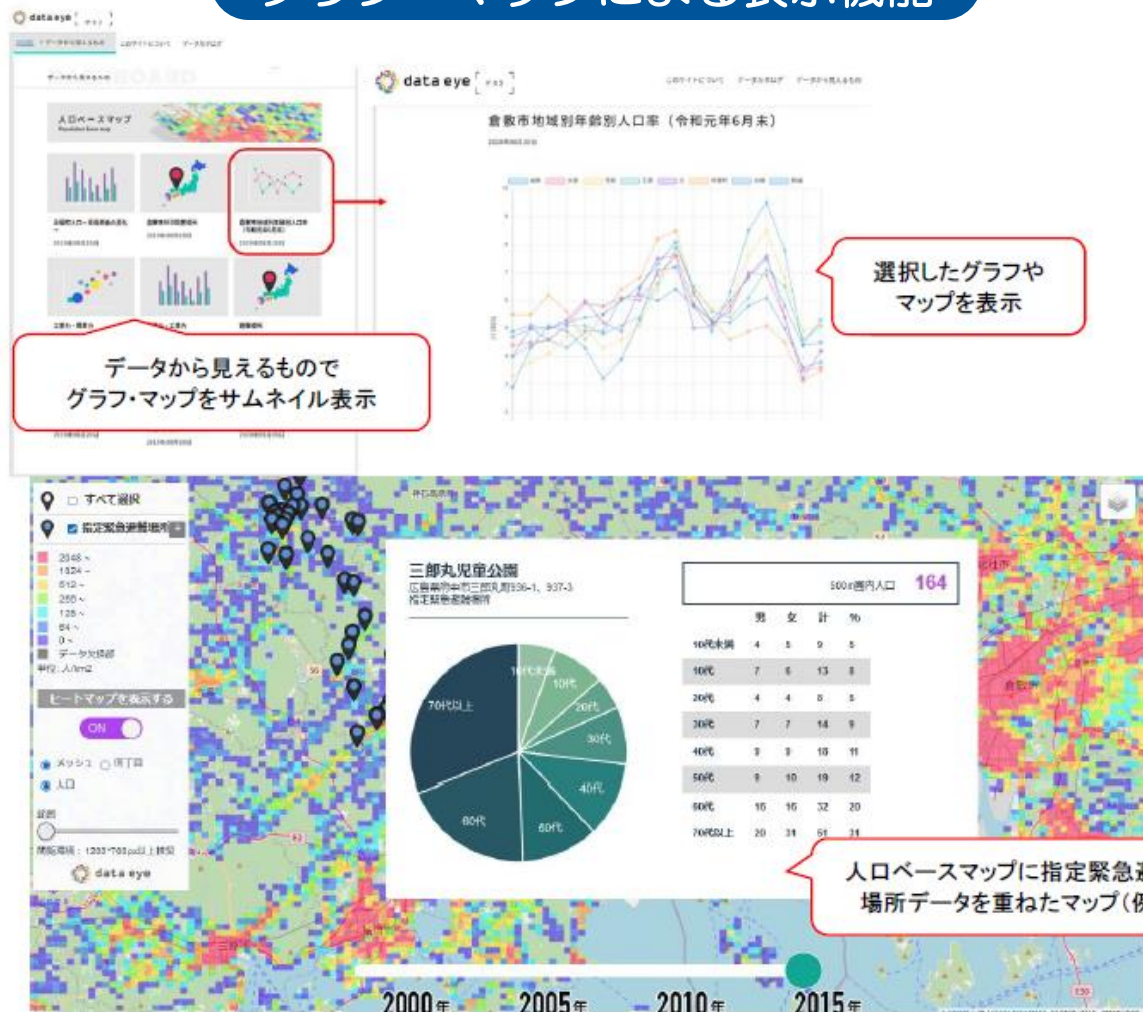


各市町のデータを簡単な操作で検索可能



広島広域都市圏オープンデータポータルサイトの機能

グラフ・マップによる表示機能



- 単にオープンデータを掲載するだけでなく、データを各種グラフ・マップ等により視覚的に表示することが可能



データの可視化による効果的な情報発信や、データを用いた施策立案 (EBPM) に資するポータルサイト構築を目指す

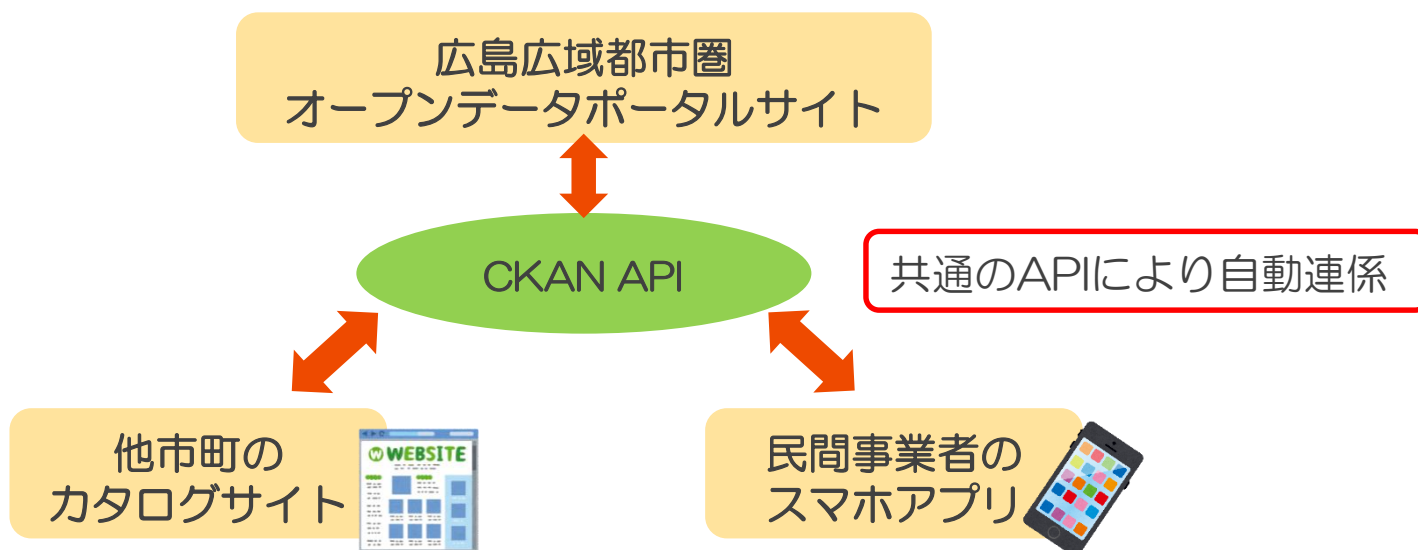
人口ベースマップに指定緊急避難場所データを重ねたマップ(例)



広島広域都市圏オープンデータポータルサイトの機能

API連携機能

- オープンデータの登録・公開を行うソフトウェアとして、自治体等で広く用いられている「CKAN」のAPIに対応しており、他市町のCKAN準拠のカタログサイトや、民間事業者が作成するスマホアプリと容易に連携が可能
- 広島広域都市圏市町の既存ポータルサイトとAPI連携することで、構築に係る市町の負担も軽減される





広島広域都市圏オープンデータポータルサイトの活用

- 本ポータルサイトを利用する広島広域都市圏構成市町の職員を対象に、オープンデータ活用研修、ポータルサイト操作研修及びオープンデータ化支援を実施する

区分	内容	実施時期
オープンデータ活用研修	政府CIOポータルで示されている推奨データセットの作成方法や、住民へのサービス提供視点でのオープンデータ整備に関する研修を実施。	1回目：令和3年10月 2回目：令和3年1月頃 3回目：令和3年2～3月頃
ポータルサイト操作研修	ポータルサイト上でのデータ編集や公開作業のための操作研修を実施。	令和3年11月
オープンデータ化支援	広島広域都市圏構成市町が保有するデータのオープンデータ化の推進のため、データ変換やジオコーディング（住所からの緯度経度取得）等の技術的な支援を行う。	随時



研修・支援を通じ、広島広域都市圏において継続的にオープンデータを推進していく人材の育成を目指す。



オープンデータ推進事業の今後の進め方

- 今後、本事業を通じて、広島広域都市圏において継続的にオープンデータを推進していく体制を構築する

- ICT推進協議会を通じた推進方針の調整

PLAN

- オープンデータの公開
- オープンデータ研修の実施
- オープンデータ化支援

DO

- 民間ニーズを踏まえたデータセットの拡充
- 公開済みデータの質・量の向上

ACTION

- データ利用状況の可視化
- 事業者からの活用事例のフィードバック
- 有識者からの意見

CHECK